

3 受話器をとる

「ツーン」と音がしている事を確かめたら、受話器を戻します。

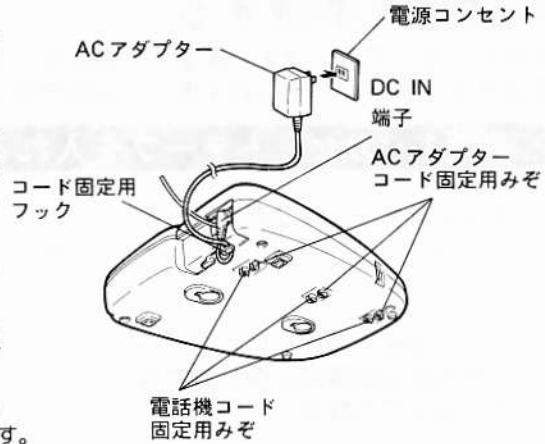
4 ACアダプターを本体に接続する

ACアダプターのプラグをDC IN端子に差し込み、コードを図のように本体底面のコード固定用フックに引っかけます。

5 ACアダプターを電源コンセント(AC100V)に差し込む

上記1~5の順序で準備を行うと、自動的に回線設定をおこないます。

- 電源を入れると通話ランプとディスプレイが点滅します。カセットテープが動きだし、最初の部分まで巻き戻されます。
- 回線設定が始まると通話ランプが点滅し、ディスプレイが特殊な表示をします。
- 回線設定が終了すると、通話ランプが点滅状態に戻ります。
- ここで受話器を一度持ち上げて、戻してください。(通話ランプが消灯し、ディスプレイ表示は時刻と用件数表示になります。)
- 回線設定が終了したら、117(時報)などへ電話をかけて正しくかかる事を確認してください(有料です)。正しくかかる場合は準備3の操作は不要です。準備4へお進みください。かからなかったり、間違っかかる場合は、準備3により手動で回線を設定し直してください。



注意

- ACアダプターは必ず付属のDCJ-300を使用し、コードはゆとりをもたせて固定してください。DCJ-300以外のACアダプターを使用すると故障の原因となることがあります。
- 自動回線設定でPB、2OPPS、1OPPSのいずれのモードでも設定できない時は、1OPPSに設定されます。

準備3：電話回線の設定を確認する

次の操作により、電話回線の設定状態を確認することができます。

(受話器を置いたまま)

1 確認を押す

通話ランプが点灯、ディスプレイの数値表示部が消灯します。

2 *00を押す

通話ランプが消灯し、設定されている回線の種別が10秒間XX部に表示されます。 00 XX

- 回線種別が未登録の場合は上記操作2で最終の〔0〕を押した時点でエラー音が鳴り、自動回線設定動作を開始します。



■手動で回線を設定する

次の操作で電話回線を設定することができます。

(受話器を置いたまま)

1 登録を押す

通話ランプが点灯、ディスプレイの数値表示部が消灯します。

2 *00を押す

“0”、“0”が表示されます。 00

3 ダイヤルボタンで回線の種別(①~④の1つ)を押す

① 20pps、② PB、③ 10pps、④ 自動回線設定

入力された番号がXX部に表示されます。 00 X

4 登録を押す

通話ランプが消灯し、回線の種別が設定されます。設定された回線の種別がXX部に10秒間表示されます。表示は下記のとおりです。 00 XX

20pps → 20、10pps → 10
PB → PB

注意

操作3で④を入力し(登録)を押すと自動回線設定の動作を開始します。